

[Faint, mostly illegible handwritten text in cursive style]

天保五十月十四

老

尾原景中様之殿事 江伊殿先水戸殿より先達申年 齡七也

立宅以依并先達白昇矣

涉所法も在り如初身より陽居より法り依り

由捨念之 只右より舟より尾原殿より初年一宗格ニ

事より如隠居以後も彼乞政事向厚お供りより候

聞右格利一 思右より任教後之任大納言より候申

以格占 御意ニ

右より申相以 上使尾原殿より 仰意ニ

共 日吉十九日 敬重なる所

大目付

少目付

只

此本汚穢初法具是少紙之節不友出仕人
右之通書達り有るは均々之なり

松平右と右隆
松平上隆也

是

先

服居居大ぬ山とあるは節一子供交り多く人基之致し
礎う抄す卯河をれり若者しやおゆん若未し族於方
八百捕金妻下はて海也方所中一と和納り

十日

右之通良河流子り不々 節節自町中家柄と不友中倍
雁有偽書と白百仕未迄急發ておる方町中不友手後
十
十

竹年傍不

天保五十月

是

平

江戸下四ヶ所遊人た下少屋持非人た吉来と路と劫を揚し因
月と右廻り船物を其右助如くは海軍も川支海取ケ
考要非因人送り運又と奉り不しとお造或は此非人たを
物也と下三紙一町と石降和と五所舟出と流し死と
稲倉と下と若くお瀬生非人た割と急りは取也紙一
店名と三書塞り悪紙とり紙一河原持と群居集り場未
と少屋と俗り大勢住居納り有る右と因と空宿者杯と
入也悪事紙一は紙と下と紙且町と往還と石降物と片
舟等困と右紙と紙舟是近流とホと半一来り不吉来
し妙と所と表店と右汁場と物と急一日と満日或は二日重
四九位と下と少屋持と右紙と紙一船物と右流と急と